

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

【染色体検査(血液疾患)】

● *BCL2*(18q21転座)

(依頼コード No.50067)

受託開始日 2026年4月1日(水) ご依頼分より

*BCL2*遺伝子は18番染色体長腕(18q21)に位置し、*BCL2*(18q21)転座は濾胞性リンパ腫(FL)やびまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)で認められます。

本検査は、FISH法を用いて18q21領域の*BCL2*遺伝子関連転座(再構成)を転座相手にかかわらずシグナルの分断により検出することができます。「ダブルヒットリンパ腫(*MYC/BCL2*再構成)」及び、「トリプルヒットリンパ腫(*MYC/BCL2/BCL6*再構成)」を有する高悪性度B細胞リンパ腫の診断を確定する上で、必須な検査となっており、検査結果は治療方針や治療薬の選択にも有用です。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



受託要領

依頼コードNo.	50067
検査項目名	BCL2(18q21)
統一コード	8B484-0000-019-841
検体必要量	血液(ヘパリン加血) 3.0mL 骨髄液 0.5mL リンパ節 5mm角程度
容器	血液 B-18 骨髄液 X-2 リンパ節 X-2 又は B-23
検体の保存方法	冷蔵(凍結不可)
所要日数	5～10
検査方法	FISH法
報告範囲 (報告形式)	【別紙報告】
検査実施料/判断料	2477点/100点(遺伝子関連・染色体検査) 患者一人につき1回限り算定できる。ただし、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で検査を行った場合に、診断の確定までの間に3回に限り算定する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・血液はヘパリン入り専用容器に採血、骨髄液は専用容器に0.5mL採取。 ・(骨髄液の採取について) 穿刺の前に注射器管内をヘパリンで潤した後、ヘパリンを完全に排出。 穿刺液は採取後空気を入れてゆっくり転倒混和し専用容器(培養液入り)に約0.5mL入れ、ゆるやかに転倒混和して冷蔵保存。 雑菌等が混入しないようにお願いいたします。 ・(リンパ節の採取について) リンパ節の前処理方法については総合検査案内2025:216ページをご参照ください。 ・FISH法による検査を複数項目で依頼の場合は、所要日数が記載された日数以上かかりますので、あらかじめご了承ください。 ・依頼書には臨床情報をご記入ください。

【検査方法の参考文献】

稲澤譲治: 臨床FISHプロトコル 目で見える染色体・遺伝子診断法 1997. (秀潤社)